



shinabushyu  
synapusyu

毎週月～金曜  
あさ 7:35～8:00  
放送

# 特集 民放初の赤ちゃん向け番組 「シナぷしゅ」が誕生！ 「令和の赤ちゃん」に良質なコンテンツを届けたい

現在放送中の民放初となる赤ちゃん向け番組「シナぷしゅ」。この番組では従来のコンテンツ制作に新たな風を吹き込む、画期的な取り組みが行われています。番組の内容や制作メンバーたちの思い、今後の展望をご紹介します。

## 「シナぷしゅ」とは？

「シナぷしゅ」のメインターゲットは0～2歳。昨年12月に実施された5日間のトライアル放送が大きな反響を呼び、レギュラー化が決定。

4月6日より毎週月～金曜あさ7:35～8:00の放送に加え、YouTubeなどでの配信、関東ローカルではゆうがた5:30から再放送も行っています。

東京大学の赤ちゃんラボ監修のもと、これからの時代を生きる「令和の赤ちゃん」がいつでもどこでも楽しめる良質なコンテンツをお届けしています。

◇ 東京大学 ◇  
赤ちゃんラボ監修！



東京大学赤ちゃんラボの開(ひらき)一夫教授。「シナぷしゅ」のチャレンジに賛同し監修を担当。

弊社で誰も経験のないチャレンジです。メンバーの多くが現役パパ・ママで、「赤ちゃんに見せたい、楽しませたい、パパ・ママにも喜んでもらいたい」と熱い思いで取り組んでいます。子育て同様、一番大事な「愛情」をたっぷり注いで番組を育てていきます。

【プロジェクトリーダー】  
株式会社テレビ東京ホールディングス コンテンツ統括局 局次長  
縄谷 太郎



## メインキャラクター「ぶしゅぶしゅ」

何色にも染められていない赤ちゃんの世界をイメージして、カラーは「白」。からだ全体を使って感情を表現するのが特徴。



## テレビ局が、未来のために今できること

私自身が育児をするなかで感じたのが「赤ちゃんにはテレビや動画を見せない方が良い」という風潮がある一方、家事の最中や外出先で泣き出した時など、子育てと動画コンテンツは切り離せないということ。それならば「見せちゃった…」と罪悪感を感じないようなコンテンツを、手軽に見られるようにできないかと考えたのが企画したきっかけです。

各コンテンツには様々な部門のメンバーたちが自分の子どもに見せたいものや伝えたいことを詰め込んで、制作過程で子

どもたちに見せて、その反応をもとにブラッシュアップするなど、「赤ちゃん目線」を徹底しています。反響の大きさから、動画コンテンツに感じていた「モヤモヤ」は多くの親に共通する課題であり、「シナぷしゅ」はその解決の一助となっていることを実感します。テレビ局の役割としても、次代を担う子どもたちに楽しさを届けることは、社会の未来を明るくすることにつながると信じています。これからも軸をぶれさせず中身をアップデートしながら、赤ちゃんに寄り添った番組を目指していきます。

企画の芽は  
子育てから生まれました！



「シナぷしゅ」プロデューサー  
株式会社テレビ東京ホールディングス  
コンテンツ統括局  
飯田 佳奈子

## 番組構成

### クリエイターが手掛ける個性溢れるコンテンツ

#### はじまりぷしゅ

低月齢の赤ちゃんも楽しめるよう、手遊び要素も入れたオリジナルダンス。胎内をイメージしたセットで、振り付けは松丸アナウンサー、作詞は飯田プロデューサーが担当。



#### マンマタイム

テーマソング「マンマのうた」で始まり、その日に真似して食べたいようなお料理の作り方を見せる、「食育」がテーマのコーナー。



#### ABC

カラフルなイラストに合わせて、ABCの歌やフォニックス(英語圏の幼児が習う、発音と文字の関係を学ぶ音声学習法)を楽しむコーナー。



#### せかいの いないいないばあ

万国共通の赤ちゃん向け手遊び「いないいないばあ」。ぶしゅぶしゅたちが、英語や日本語、その他世界各国の「いないいないばあ」で遊びます。



#### がっしゃん

猫のパペットが身の回りにある連結を「がっしゃん」という言葉で楽しく紹介。「がっしゃん」は人と人のつながりも表す温かい言葉です。



#### ヒカリの森の黒うさぎ

光が美しい切り絵アニメで、黒うさぎの日常を愛らしく描写。アニメ作家と作曲家の夫妻が制作を担当し、音楽と動きだけで物語を表現します。



#### あいうえーお！のうた

(2020年4月)  
毎月、赤ちゃんへのメッセージがこめられたオリジナルソングを制作。4月の「あいうえーお！のうた」は、楽しく五十音を覚えられと大好評でした。



新コーナーが今後も続々と登場します！





# 「シナぷしゅ」の4つの挑戦!

コンテンツ制作にとどまらず、多方面で新たな取り組みを展開している「シナぷしゅ」。4つの挑戦に焦点を当て、その内容と担当者のコメントをお届けします。



## 制作体制も持続可能な新・テレ東スタイルを構築中

子育て中のプロデューサー、クリエイター、作家さんも多いため、長時間の定例会議、大人数のプレビュー、一日中編集所にこもる作業などすべての工程を効率化、リモート化。動画や企画のチェックもスマホでやりとり。全国各地にいるクリエイターと、ITツールを駆使しながら「テレビ制作の当たり前」を改革中!

## 公式チャンネル「シナぷしゅch」をYouTubeに開設

「見せたい時に見せたい見せ方で見せられる」コンテンツでありたい、と放送直後の配信とアーカイブ化は企画当初からの狙い。チャンネル登録者数を増やし、収益化を目指し、YouTubeの他に「ネットもテレ東」、「TVer」でも配信中。

## 音声メディア「Voicy」にテレビ東京初の音声チャンネルを開設

音声チャンネルの名称は「シナぷしゅラジオ」。メインパーソナリティーは、松丸友紀アナ。国内外でも急激に拡大している音声市場に注目し、番組と連動させながら、育児に奮闘する保護者の肩の力が少しでも抜けて、育児の孤独感をなくせるよう、テレビとは異なる切り口で情報発信を行っている。

## コンテンツプラットフォーム「note」にテレビ東京初の番組公式オンラインサロン開設

月額会費制で名称は「シナぷしゅラボ」。会員向け限定掲示板の閲覧や、番組コーナーへのアイデア参加、グッズ開発、特別イベントなどへの参加などが可能になる。無料の公式ページも併設。



クリエイター、プロジェクトメンバー、参加している子どもたち一人ひとりに光が当たればと思っています。「シナぷしゅ」は「誰かの作品」ではなく、現在進行形の個々による集合体のプロジェクト。制作の裏も表もない、「個々への注目」が裏コンセプトでもあります。

制作局 クリエイティブビジネス制作チーム  
伊藤 里紗

外出先で必要に応じて、さっと見せられる良質なコンテンツはこれまでありませんでした。動画コンテンツと切り離せない現代の子育ての実情と向き合い、放送直後に配信しています。

総合編成局 編成部  
三好 孝徳



いつでもどこでも収録できる特性を生かし自宅収録しています。時々息子の声も入っていますが、リアルな日常や母親として抱える悩みをありのままに言葉で表現し「飾らない」を意識して臨んでいます。

総合編成局 アナウンス部  
松丸 友紀



2020年2月開始のnoteの新機能(サークル)を活用しています。番組のコアなファンの声番組制作やビジネス開発に生かしたらと期待しています!

コンテンツ事業局 コンテンツビジネス部  
合田 知弘



※note:テレビ東京ホールディングスは「note」を運営するピースオブケイク(現・note株式会社)と2019年8月に資本業務提携契約をしました。

## プロジェクトメンバーが描くシナぷしゅの未来

画期的な番組なので新規スポンサーへのセールスにも、まい進していきます。「子どもたちのために良い番組作りを」と担当を志願してくださるスポンサーもいらっしゃり、一層気合が入ります。



営業局 営業推進部  
渡邊 由佳子

皆さんに「シナぷしゅ」を好きになってもらうために、放送と組み合わせながら、リアルイベントにかかわらず「新しい形」のイベントを打ち出していきたいと思っています。



ビジネス開発局 イベント事業部  
林 克征

言語がなく、リズムや音楽だけのコーナーも多数あり、「国境を越えていく力」を秘めている「シナぷしゅ」。海外への発信を想定した番組づくりや準備を進めています。



アニメ局 ビジネス促進部  
岡林 曜子

レギュラー放送開始前から書籍化のお話を複数いただくなど、反響の大きさを肌で感じています。「好き!」や「楽しい!」など番組を見た時の気持ちとリンクする、付加価値のある商品開発を目指して奮闘中です。



アニメ局 MDビジネス部  
高垣 恭子・桐生 朋美

番組のメインキャラクター「ぶしゅぷしゅ」の認知拡大に努め、企業との広告タイアップや商品のコラボをぜひ、実現させたいです。IPビジネスを確立させ、放送外収入の拡大を目指していきます!



株式会社テレビ東京 コミュニケーション IPビジネス部  
伊藤 歩

